

神戸海星病院ニュース

2017年 春号



内視鏡センターのご案内

あいさつ / 消化器病センター医長 木下 隆昭

神戸海星病院へ赴任して早7年が経ちました。

医療活動拠点が南大阪から神戸へと移り、神戸の医療の質の高さに日々刺激を受けています。

神戸海星病院では消化器内視鏡治療を専門に診ています。例えば消化管で言えば食道癌・胃癌・大腸癌など上下部消化管早期悪性腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）から、肝胆膵領域で言えば胆嚢結石症・総胆管結石症に由来する炎症性疾患から腫瘍に対する内視鏡的逆行性胆膵管造影法（ERCP）を用いた診断・治療を積極的に行っています。

内視鏡分野では例年機器の進歩が著しく、診断・治療における質も向上しています。

当内視鏡センターでは最先端の内視鏡機器を搭載し、それを駆使して質の高い医療を患者様に提供できるよう取り組んでいます。胃腸の調子がすぐれない方、ご家族に胃がん・大腸がんの既往がある方、消化器内科へご受診のうえ、ご相談ください。

内視鏡機器のご紹介 / 看護師・消化器内視鏡技師 大路 裕子



当院は、最新の内視鏡機器を使用しています！

微細な腺腫や癌などの早期発見に向けた診断と治療は、日々発展を続けています。当院においても検査をはじめ、内視鏡的治療や内視鏡的手術の実施件数は増えています。

消化器内視鏡システムは、口や鼻、肛門から挿入し体内を観察する【スコープ】部分と、スコープに光や空気、水を供給したり、画像を表示する光源装置および周辺機器から構成されています。

当院では、オリンパス社 最新モデルの内視鏡システム【ELITE】を使用し、スコープは操作性、挿入性、観察性能、業務効率を追求されたモデル【290シリーズ】を導入しています。

⇒裏面へ続きます

【290 シリーズ】では、スコープの太さが若干細くなり、大腸においては視野角が 140 度から 170 度とかなり広角になりました。屈曲した形状の大腸でも、スムーズな挿入を行えるよう、腸壁にスコープが当たると自然に曲がる【受動湾曲機能】や、大腸の形状や長さによって操作者（医師）の手元側の力をより効率的に先端に伝えるための【高伝達挿入機能】が付き、挿入性が改良されています。



オリンパス社製 内視鏡システム
(オリンパスホームページより)

光源装置は、従来モデルに比べ、胃や腸の中を照らす光量がより明るく解像度も上がり、高画質になりました。

最新の内視鏡機器で、患者さまには、従来よりも楽に検査を受けていただくことができるようになりますとともに、診断精度が向上しました。

消化器内視鏡技師資格を持つ看護師が、検査、手術をサポートします！

当センターでは医師、看護師、事務員が業務しています。

このうち、消化器内視鏡技師資格を持つ看護師が、11 名勤務しています。

消化器内視鏡技師とは、一言で言えば内視鏡業務のエキスパートです。日本消化器内視鏡学会の資格認定試験により認定されます。

【消化器内視鏡技師の役割】

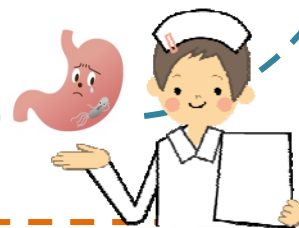
- ・ 患者さまに、安心して検査・手術を受けていただけるよう支援します。
- ・ 患者さまに、清潔なスコープで検査・手術を受けていただけるよう、日本消化器内視鏡学会によるガイドラインに準拠し、内視鏡および関連機器・器具の洗浄・消毒を行います。
- ・ 患者さまに、安全かつ円滑な検査・手術を受けていただけるよう、的確な介助を行います。
- ・ 患者さまに、安全かつ円滑な検査・手術を受けていただけるよう、内視鏡システムの点検・メンテナンスなど、機器の管理を行います。
- ・ 患者さまに、最新の知識と技術を提供できるよう、常に研鑽します。

【消化器内視鏡手術を受けられる患者さまへ】

患者さまに安心して手術を受けていただけるよう、手術前日に担当看護師が病室を訪問し、手術の流れを説明、質問にもお答えします。

また手術後には、患者さまの症状や経過を把握すると共に、率直なご意見やご希望を伺い、看護の振り返りに役立てたいと思います。

ご質問などがありましたら、いつでも内視鏡センターまでお問い合わせください。



医療法人財団 神戸海星病院

〒657-0068 神戸市灘区篠原北町 3-11-15

TEL 078 (871) 5201(代表) ◆<http://www.kobe-kaisei.org/>

神戸海星病院ニュース 春号 2017 年 3 月 27 日発行 ◆ 編集責任者 矢政 健一

ブログも
更新中!!